

第5回 小松市空き家実態調査結果報告書

1. 調査概要

期間：令和6年7月～令和7年2月

- 令和6年7月～ 各町内会へ調査依頼
- 令和6年8月～ データ集計
- 令和6年9月～ 危険空き家*現地調査
- 令和6年11月 利用可能空き家*所有者アンケート送付
- 令和7年2月 小松市空家等審議会での調査結果報告

※町内会判断によるもの

2. 調査結果

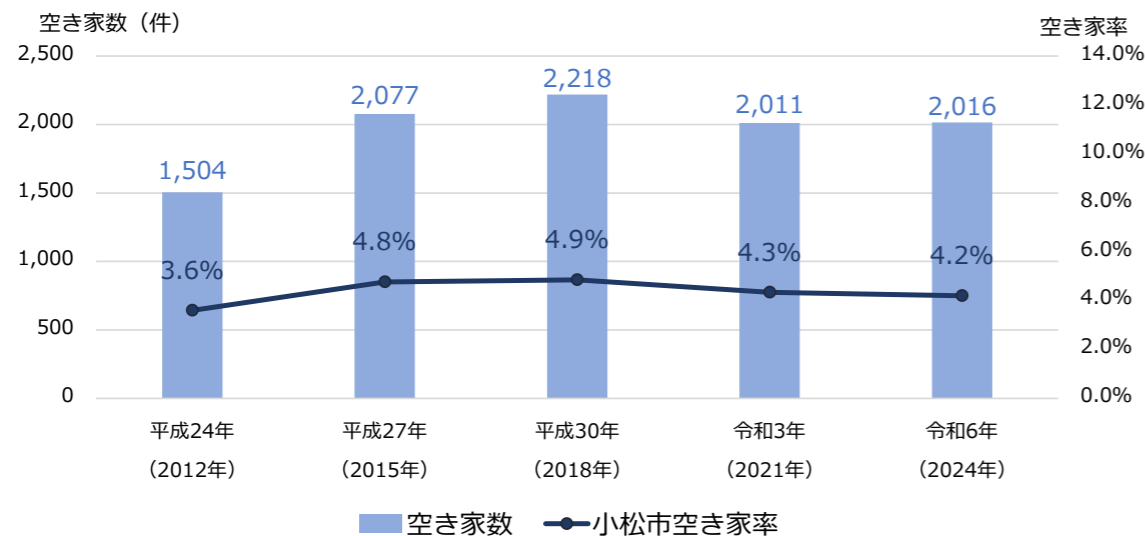
町内会からの調査報告をもとに、危険空き家の現地確認や所有者アンケートの回答を踏まえて整理した結果、空き家の総数およびその内訳（空き家の状態）は以下の通りである。

| 項目 | | R6 調査件数 | R3 調査件数 |
|-----------------|--------|---------------|---------------|
| 危険な空き家 | 特定空家 | 17件 | 8件 |
| | 管理不全空家 | 88件 | 37件 |
| 軽～中程度の劣化の管理不全空家 | | 114件 | |
| 上記以外の空き家 | | 1,797件 | 1,966件 |
| 空き家総数 | | 2,016件 | 2,011件 |

3. 空き家数, 空き家率の推移

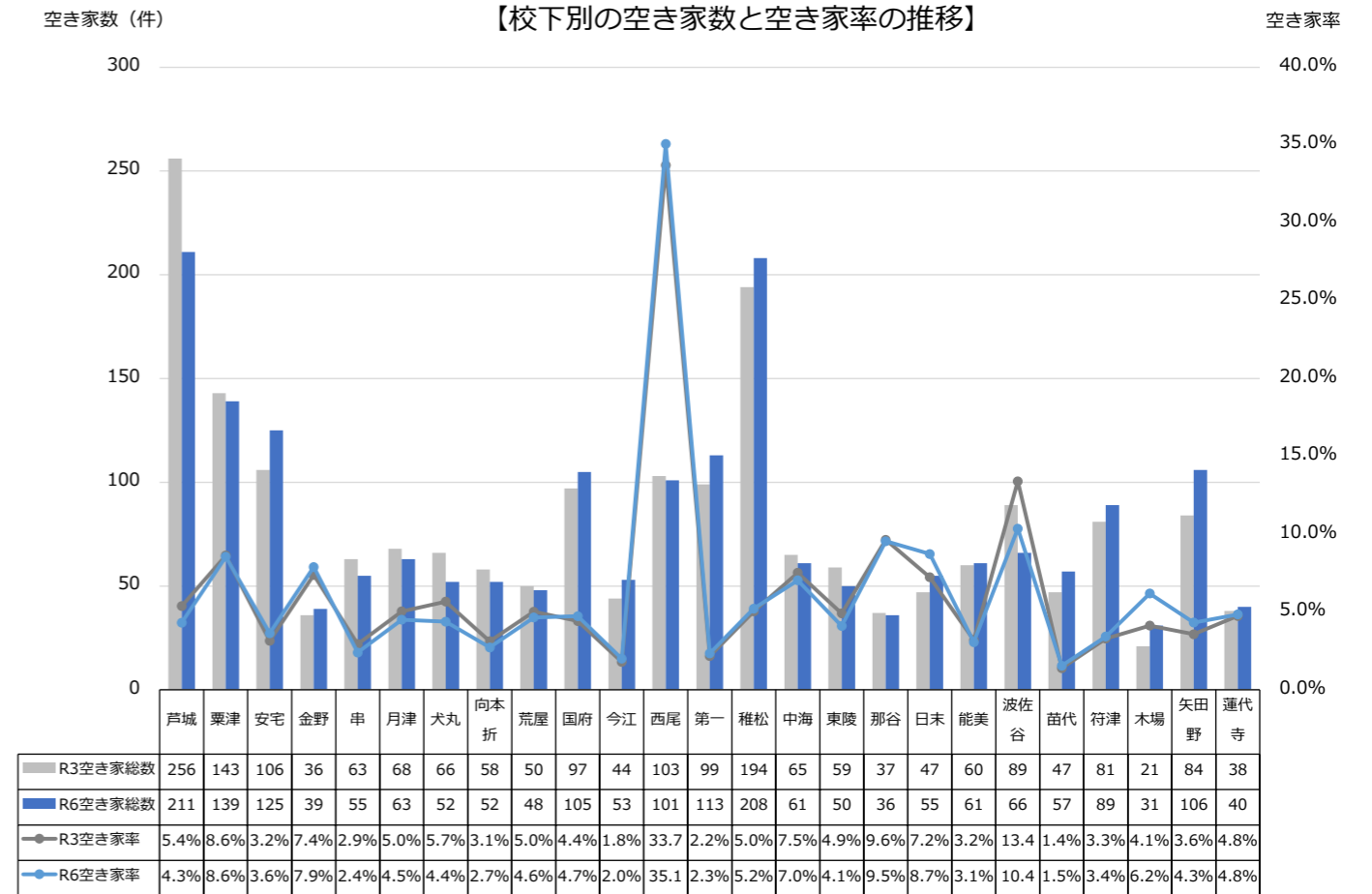
令和6年の空き家率は、小松市の世帯数45,987世帯（調査月：令和6年7月1日）に対して約4.2%であった。近年の空き家件数の増加はほぼみられず、空き家率も減少傾向にあるものの、危険な空き家や、危険な空き家になりうる空き家数は増加している。

【空き家数と空き家率の推移】



4. 各小学校校下別の空き家数と空き家率

校下別の空き家数では、「芦城」が211件で最も多く、次いで「稚松」が208件となっており、中心市街地に多く見られる。空き家率では、「西尾」が35.1%と最も多く、次いで「波佐谷」は10.4%となっており、いずれも山間部での高齢者率の高い地域である。



5. 今後の方針

- 実施した空き家実態調査の結果やこれまでの市の取り組み状況等、法改正を踏まえ、令和5年に改訂した「小松市空家等対策計画」に掲げる対策を一層推進する。
- 空き家等に係る対応についての措置フローの策定及び対応の強化。
- 空き家等の除却に伴う土地に係る固定資産税等の減免制度の検討。
- 民間事業者へ空き家業務の一部（情報サイトへの登録及び情報の更新・相談窓口業務・物件の調査・無料相談会の開催など）を委託することで、さらに市と連携を図り、より空き家の利活用を推進していく。

